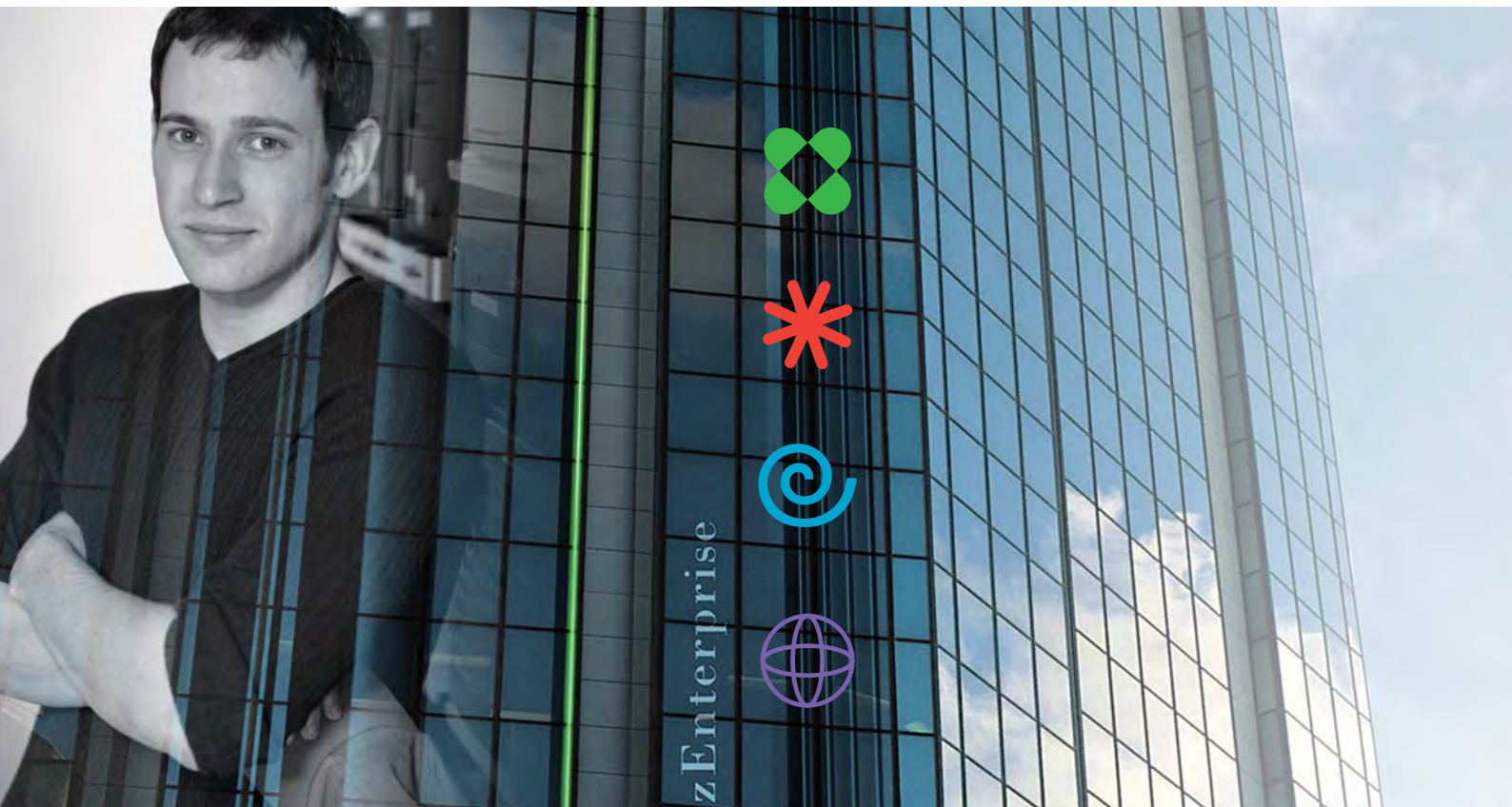


IBM System z ソフトウェア・ツール&ソリューション

企業の競争力強化をサポートするメインフレーム・ソフトウェア



お客様のビジネス・ニーズに迅速に対応し、 進化し続けるテクノロジー

昨今の厳しいビジネス環境において、企業が競争力を維持するためには、ビジネス・ニーズに迅速に対応し、お客様に直接的な価値をもたらすITインフラが必要です。そのようなITインフラに求められる要件としては、信頼性・可用性に優れ、高い拡張性があること、TCOの観点からコスト競争力があること、最新のテクノロジーを迅速に取り込み、ビジネスの変化のスピードに対応できること等が挙げられます。多くの企業が抱えるこのITインフラストラクチャーに対する困難な課題は、System zサーバー、およびソフトウェアによって解決することが可能となります。

IBM System zソフトウェアは、常に先進のテクノロジーを取り込み、お客様のビジネスをサポートする、高度に統合されたソリューションを提供します。

また、Smarter Computingを実現する基盤として、ワークロード最適化によるコスト削減、新しいサービスの迅速な提供、意思決定のための知見・洞察の獲得等に必要とされる様々な最新の機能を提供しています。さらに、基幹のミドルウェアだけでなく、IBMソフトウェア・ツールを活用することで、より多くのメリットを享受して頂くことができます。

System z の真価を最大限に引き出す ソフトウェア・ツール

高性能なサーバーは、優れたソフトウェアがあって、初めてその真価を発揮します。System zサーバーは多くのミドルウェア、ソフトウェア・ツールにより、卓越したサーバー機能と併せて、理想的なITインフラ環境を提供しています。IBMではSystem zサーバー、z/OS、ミドルウェア、およびソフトウェア・ツールに対して継続した投資を行い、機能を拡張し続けています。

System zソフトウェアと最新のツールは、アプリケーション開発から、システム運用管理に至るまで、幅広いニーズに対応し、ITインフラを構築・運用するための、あらゆる局面で、お客様をサポートします。

既存の投資を最大限に活用し、 持続的に拡張可能なIT環境の実現

IBMでは、お客様がこれまで行ってきた投資を最大限に活用し、将来の拡張に対応できるように、System zサーバーおよびソフトウェアに対する機能を強化しています。

System zソフトウェア・ツールでは、メインフレーム環境のアプリケーションだけでなく、分散環境におけるアプリケーションも、柔軟に統合可能なWebベースのテクノロジーを提供しています。既存のアプリケーションを再利用し、迅速に拡張していくための様々な機能を提供することにより、お客様のビジネス・ニーズに即応することが可能となっています。

また、多くの企業にとって重要な課題となっている、メインフレーム環境におけるアプリケーション開発スキルの継承や人材不足に対しては、Eclipseベースの最新開発ツールや、Agile開発に必要なツール類が提供され、Webアプリケーション開発などで慣れ親しんだ環境と同様の開発環境を利用して頂くことができます。



複雑化するIT環境の課題を解決し、 お客様の業務を効率化

近年、ミッション・クリティカルなシステムにおいて、メインフレームは、より一層、その重要を増しています。氾濫するサーバー群、増大する一方の管理コストやエネルギー・コスト、潜在的なセキュリティーの脅威など、複雑化したITの課題解決が必要な企業において、改めてメインフレームの価値が見直されています。

IBMは、業務を効率的に推進し、生産性を向上するための基幹ミドルウェア、ツール、およびソリューションを拡充し、さまざまな局面でお客様の業務をサポートするソフトウェア製品開発を今後も継続していきます。



データベース管理ツール Information Management

現在の企業活動においては、大量のデータを収集しその中から企業にとって有益な知見、行動を引き出す事が、他社への優位性を導き出す方法となっています。こうした情報戦略活動を推進していく上で、データベースは中心的な役割を果たすため、最高レベルの能力を発揮する必要があります。その要求に応え、IBM DB2 for z/OS、IBM IMSのパフォーマンス向上のため、DB2 ToolsとIMS Toolsは開発されました。

これらのDB2、IMS用のデータベース管理ツール製品群は以下の4種のカテゴリーに分類されます。

■アドミニストレーション

DB2 Administration Tool、IMS Database Control SuiteやOptimなどにより、データベース管理タスクを効率化し、システムの可用性を改善します。

■パフォーマンス管理

IBM Tivoli OMEGAMON XE for DB2 Performance ExpertやIMS Performance Analyzerなどのツールを使用して、厳しい要求下でもピーク運用レベルを向上させます。

■リカバリーとレプリケーション

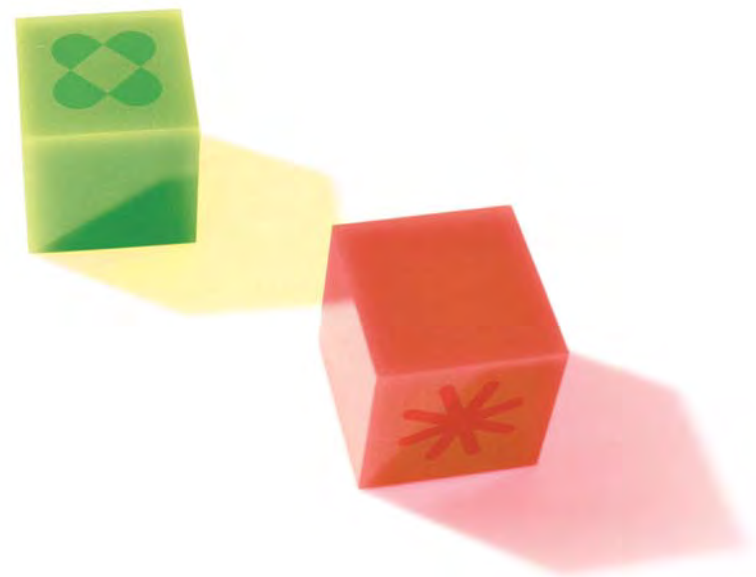
DB2 Recovery Expertを使ってバックアップやリカバリーに関連した負荷を軽減。また、InfoSphere Replication Server for z/OSやInforSphere Classic CDC for z/OSなどにより複雑なレプリケーションの課題にも対応します。

■ビジネス・アプリケーション管理

IMS Connectを利用して、お客様の持つ情報への迅速なグローバル・アクセスを支援します。また、Cognos 8 Business Intelligenceで素早くビジネス情報をお手元にお届けできます。

相互のインターフェースを利用し一元化された管理ツールは、お客様のデータベース環境をより容易に管理しやすくします。データや機能を共有するように設計されているため、お客様の要求に合った、最適のソリューションを選択できます。また、IBMはデータベース製品とツール製品群を共に開発していますので、データベースの新バージョンのソフトウェアを出荷開始するときには、新しいデータベースの新機能を生かしたデータベース管理ツールの機能拡張も同時にサポートすることができます。

DB2ソリューションは複数のプラットフォーム上に拡張、稼働できるように、IBM AIX、Linux、Linux on System z、Microsoft Windowsなどのプラットフォーム用に追加ツールを用意しています。IBMは、これらすべてのプラットフォームで共通のインターフェースを採用し、最新テクノロジーを用いた自己管理、自己調整機能をサポートすることで、操作性を改善しています。お客様は、このデータ管理ツールによりDB2、IMS環境から最大限の価値を引き出すことができるので、その品質、信頼性、価格にご満足いただけるものと、確信しています。



管理の業務軽減と費用削減を実現する システム管理ツール

オンデマンド・ビジネス環境の複雑さを統合的に管理するために生まれたIBM Tivoliソフトウェアは、従来のネットワークとシステム管理の境界線をデータセンターからインターネットへと拡張することができます。そして、「可視化」「コントロール」「オートメーション」と3つのITビジネス目標を達成することが出来ます。

Tivoliソフトウェアは、IBMサービス・マネジメントのコンセプトに基づき、ネットワーク、システム、データベース、アプリケーションを管理する上での問題を軽減し、ビジネスを活性化するとともに、お客様の管理費用を削減します。例えば、さまざまなITイベントが重要な業務の可用性にどんな影響を与えるかを、分析するために役に立ちます。運用、セキュリティ、業務への影響度の管理、イベントの相関関係と自動化、そしてネットワークとシステム、アプリケーションの監視などに対処するTivoliシステム管理ツールには、次の製品群があります。

■自動化/監視ソリューション

●Tivoli NetView for z/OS

ネットワーク、システム、アプリケーションの監視および自動化によるシステム統合管理を実現します。

●IBM Tivoli System Automation for z/OS

運用のベスト・プラクティスを集積した、ポリシー・ベースの統合自動化ソリューションです。z/OS、DB2、IMS、CICS、WebSphere Application Server、Tivoli Workload Scheduler、R/3といった主要ミドルウェアの資源管理用自動化テンプレートを提供します。

●IBM Tivoli Workload Scheduler for z/OS

z/OSからの、UNIX、Windowsなどのサーバーを含むエンド・ツー・エンドのバッチ・ジョブ運用の自動管理機能と強固な障害回復機能を提供します。NetView for z/OS、System Automation for z/OSとの統合自動化のための連携機能も利用できます。

■パフォーマンス管理ソリューション

●IBM Tivoli Decision Support for z/OS

z/OS、およびz/OSミドルウェア、UNIX、Windowsなどのパフォーマンス・データの統合バッチ・レポート機能を提供します。運用報告書、傾向分析によるキャパシティー・プランニング、課金管理に利用できます。

●IBM Tivoli OMEGAMON Series

OSやミドルウェアの個別のパフォーマンスをリアル・タイムで監視できます。z/OS、IMS、DB2、CICS、Storage、MQ、ネットワークの各対応製品が用意されており、それぞれのコンポーネントのオンライン・モニター、データ解析、レポート機能を提供します。WebSphere Application Serverのパフォーマンスを監視するIBM Tivoli Composite Application for Application Diagnostics for z/OSも、同じシリーズ製品になります。

■セキュリティ管理ソリューション

●IBM Security zSecure Suites

RACFによるセキュリティの定義、運用、監査、監視を強力に支援し、お客様のセキュリティ管理の強化を実現するシリーズ製品です。

これらの製品はIBM Service Management Center for System z (SMCz)を構成する一部となります。

IBM Service Management Center for System z とは System z クライアントのためのサービス管理とベスト・プラクティス・モデル

System zからエンタープライズ全体を管理
System zを企業全体の管理のための戦略プラットフォームへ



SMCzは、ビジネスに欠くことのできないITサービスの可用性を高めるとともにその安定性を向上するように設計されたIBM Service Managementに基づく手法と統一された製品スイートです。SMCzによりIT担当者の生産性向上、エンド・ユーザーの満足度向上、ITの運用とビジネス目標を同期させ企業内ITインフラストラクチャー・ライブラリー (ITIL) プロセスを連携させ、サポートします。SMCzポートフォリオにはさらにSystem zストレージ管理ソフトウェアやサーバー統合を支援するVM、Linux on System z上の仮想化、自動化ツールがあります。これら包括的な管理ソリューションを利用することによりIT運用におけるコスト削減や効率化の効果を高めることができます。

z/OSアプリケーションを刷新するための開発環境

メインフレームのソフトウェア資産とスキルの有効活用

企業の重要なビジネス資産である期間システムは、依然としてメインフレーム上に存在しています。200億行のCOBOLコードが存在し、今でも新規に5億行のCOBOLコードが開発されており、今でも大部分の重要なデータは、z/OSなどメインフレーム上に保持されていると言われています。(外部調査機関による)

これらの膨大なシステム資産を有効活用しながら、新しいビジネス環境の変化に迅速に対応させていく為のソリューションを“エンタープライズモダナイゼーション”と呼び、それを実現するための製品群をRationalブランドとして提供しています。すなわち、次の5つの視点に集約された製品です。

■システム資産

- 既存アプリケーションの棚卸と可視化
 - ・ Rational Asset Analyzer for System z
- 開発プロセスにおける資産の蓄積と管理
 - ・ Rational Asset Manager

■アプリケーション・アーキテクチャー

- 3270及び5250アプリケーションのWebサービス化
 - ・ Host Access Transformation Services
- 既存のCOBOL、PL/I、JavaアプリケーションからのWebサービス生成
 - ・ Rational Developer for System z
- 開発プロセスにおける資産の蓄積と管理
 - ・ Rational Asset Manager

■プロセスとシステム基盤

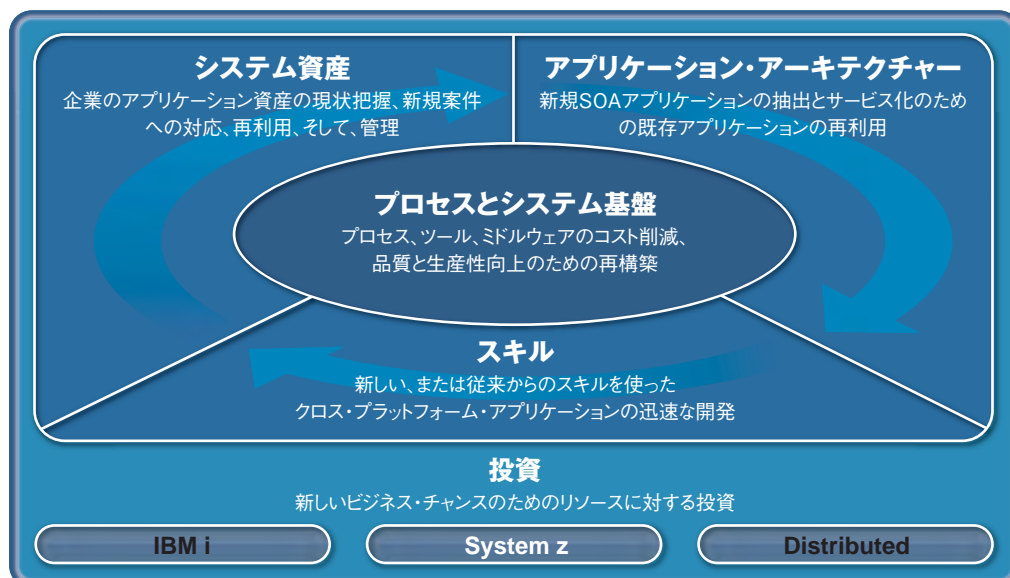
- 企業全体のシステム資産管理のための共通リポジトリ
 - ・ Rational ClearCase
- 問題管理と構成管理の自動化と組織化
 - ・ Rational ClearQuest
- クロスプラットフォームにおけるコンパイル・リンクの自動化とトレーサビリティ
 - ・ Rational Build Forge
- チーム開発ツール
 - ・ Rational Team Concert

■スキル

- IBMのEclipseプラットフォームによる最新開発ツール
 - ・ Rational Developer for System z
 - ・ Rational Application Developer for WebSphere Software
 - ・ Rational Business Developer
- アプリケーション運用支援・問題判別ツール
 - ・ File Manager
 - ・ Debug Tool
 - ・ Fault Analyzer
 - ・ Application Performance Analyzer

■投資

- 3270及び5250アプリケーションの迅速なGUI化
 - ・ Host Access Transformation Services



CICSツール

CICSを利用した多種多様なアプリケーションは、1日24時間/週7日間、数千もの対話式ユーザーと、毎日週百万に及ぶ大規模なトランザクションを処理しています。IBM CICSツールは、CICS Transaction Serverシステムにおいて、お客様が求められる高パフォーマンスと可用性を維持します。

IBM CICSツールは、リソース利用率の向上、CICSシステムの機能性と効率の改善を支援するように設計されています。

- CICS Performance Analyzer と Tivoli OMEGAMON XE for CICSによるパフォーマンスの管理と監視
- IBM CICS Interdependency Analyzer と CICS VSAM Recovery による業務アプリケーション間の関連分析・影響分析とVSAMエラー・リカバリーの提供
- CICS Configuration Managerによるオンライン資源定義の一元管理
- CICS Deployment AssistantによるGUIベースのCICSシステムの一元管理

これらのCICSツールは、お客様のサービスレベル要件を満たすことを支援し、また、CICS Transaction Serverに導入された新たな機能の活用を可能にすることで、運用コストを改善します。またCICS Transaction Serverの新たなインターフェース、Eclipseベースで作られたCICS ExplorerにCICSツールのインターフェースも統合され、ホスト経験の浅い技術者にも、よりビジュアルで操作性のよいインターフェースからCICSの管理を行うことが可能となっています。お客様がCICSシステムから一層多くの機能を引き出すためのCICSツールも、新たに機能を拡張しています。

ファイル転送ソリューション

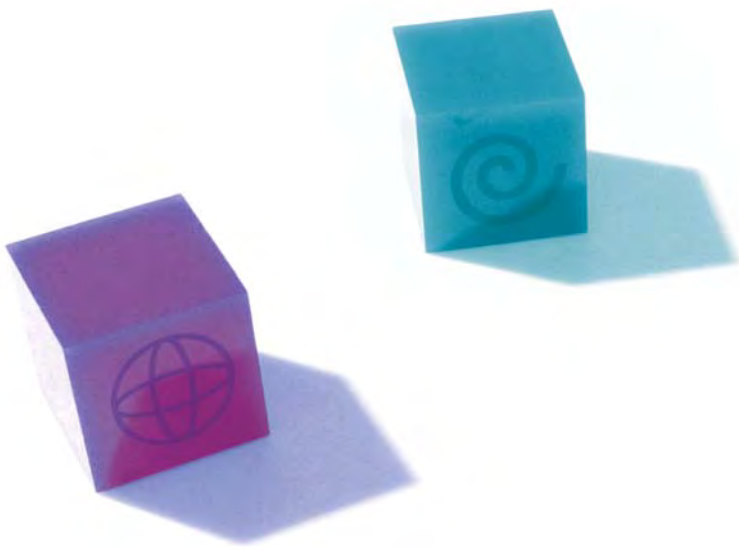
WebSphere MQメッセージングをベースに、監査性、可視性、信頼性を備えた管理ファイル転送ソリューションをWebSphere MQ File Transfer Editionにより提供します。これにより、従来のメッセージを処理するMQメカニズムの中に、ファイルの処理を統合でき、単一の信頼できるバックボーンを使用して運用を効率化します。

既存資産を連携・活用し、ビジネスへの即応性を高めるアプリケーション基盤

変化するビジネス要求に迅速に対応するために、既存のIMS、CICS、DB2資産の効率的な利用と、WebサービスやXMLあるいはWeb対応などオープンでスタンダードな技術を用いてそれらを連携・活用できることが求められています。IBMではこれらの動きをサポートするために、常に最新のオープンな技術を提供するWebSphere Application Serverを既存資産に最も近いメインフレーム上でご提供し、信頼性・セキュリティ・スケーラビリティの高いアプリケーション基盤構築をサポートします。

また、信頼性の高いESB(エンタープライズ・サービス・バス)環境をご提供するWebSphere Message Broker for z/OS、WebSphere ESB for z/OSや、既存資産も含めプロセス連携を行えるIBM Business Process Manager Advanced for z/OS、またビジネス・ルールとイベント処理機能を提供するIBM WebSphere Operational Decision Management for z/OS等と組み合わせ、全体をメインフレーム上で稼働させることで、既存資産と親和性の高い連携基盤を構築し、メンテナンスへの投資の抑止を図り新規ビジネス要件に迅速に対応することが可能になります。

この他にもJavaでバッチのモダナイズを図るCompute Grid for z/OSなど、IBMのメインフレームで稼働するWebSphereインフラストラクチャー製品により、その柔軟性と応答性で開発生産性を高め、ITとビジネスを一体化できる基盤を構築できます。





詳細情報

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤルIBM(☎ 0120-04-1992)へ。受付時間:月～金9:00～18:00(土日祝日12/30～1/3を除く)フリーダイヤルをご利用いただけないお客様は下記の電話番号をご利用ください。

ダイヤルIBM 098-901-2001(この場合通話料はお客様のご負担となります。)

System zソフトウェアについての詳細情報は下記のWebサイトをご覧ください。

ibm.com/jp/software/zseries

©Copyright IBM Japan, Ltd. 2012

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Produced in Japan

Mar 2012

All Rights Reserved

- このカタログの情報は2012年3月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります
- 記載のデータはIBM社内の調査に基づくものであり、全ての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。
- 製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。

IBM、IBMロゴ、ibm.com、AIX、CICS、Build Forge、ClearCase、ClearQuest、Cognos、DB2、InfoSphere、NetView、OMEGAMON、Optim、RACF、Rational、Tivoli、WebSphere、z/OS、z/VM、System zは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標。

JavaおよびすべてのJava関連の商標はSun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標。

他の製品名および、サービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml>をご覧ください。